



NO 6 H27. 10. 30

# 園長だより

10月号

## 「運動会」と「作品展」

2学期の大きな行事が続いた10月。保護者様からたくさんの温かいお言葉をいただきました。今回は、視点を変え様々な大人の視点から、つぶやきをご紹介します。

### (運動会後の連絡帳より)

「先日は素晴らしい笑顔と感動に満ち溢れた運動会をありがとうございました。先生のブログを拝読し、涙いたしました。子供たちを、身も心も大きく成長させていただき感謝の気持ちでいっぱいです。」

「かけっこで2番になってしまった後、ちょっとぐずっていたように見えたのですが大丈夫だったのでしょうか？きっと先生方が丁寧にお声掛けいただいたのだと思います。親子ダンスでは泣かずに安心しました。ありがとうございました。パンくい競争頑張ったんだよ。とほしかったメダルをととても喜んでいました。」

「一週間ぐらい前からお父さんと走って登園し、トレーニングしていたみたいです。いつも1位になりたいと話をしていて、じゃあ朝走ろうと言って走ることにしてみたいです。努力も実って1位になることができ、とても嬉しくその他の親子共々とても楽しく過ごしました。年中さん、年長さんのかけっこや体操等を見て1～2歳の違いであんなにも立派になるんですね。電話でおばあちゃんに運動会の話をしていて、今度は見に来てね。と来年の運動会の約束までしていました。イベントがたくさんあって先生方は大変かと思いますが、娘たちの成長の姿を家庭以外で見て、本当に感動します。先生方のおかげです。ありがとうございます。」

### (作品展後の連絡帳より)

「先日の作品展には、感動・感激・感謝の思いでいっぱいです。園に入ったその瞬間からテーマに添った別世界に引き込まれました。お部屋を回る度にそれぞれの感動がありました。そして、子供たち一人一人の際限なく広がる希望に満ち溢れた夢に感激しました。大人になりますと、つい実現可能性を考え自らブレーキをかけてしまいがちですが、人として夢を持ちそれを大切に育むことの大事さを改めて感じさせてくれました。我が子の知らない一面も垣間見ることができ、微笑ましく思っております。最後に、そういった子供たちの思いを園の空間にあのような形で表現してくださいました先生方に心より感謝申し上げます。連日、早朝から深夜までご準備いただきました事、子供たちへの思い、子供たちの成長をも親に伝えてくださりましたこと等、子供にも伝えてまいりたいと思っております。」

「ホウキの柄のところはわざとはみ出しているとか、この猫ちゃんには赤ちゃんがいるのなどと自分が考えて作った作品を誇らしげにお話してくれました。絵の中にもストーリーがあるんですね。」

「楽しい新渡戸祭をありがとうございました。作品展の素晴らしさにびっくりいたしました。レベルの高さに感動いたしました。本当に夢の世界でした。息子ともう一度見たいと言っております。羊さんが何でできているのか夢見る子供たちのすやすやベットが何でできているのか、次の面談の時に教えてください。感動しました。」

「子供たちの作品をより引き立たせる先生方のディスプレイに非常に感激いたしました。子供たちへの愛があふれる作品展でした。子供たちの作品ものびのびと個々の個性があふれる作品ばかりでした。子供の絵も上手になっていてビックリ！」

### (親御さんのつぶやき)

「いつもなんでもできてしまって、少しできない事があったほうが良いと思うんです。だから、運動会でも一番になっているという事が、いつも一番でいいのかなどか？悔しい思いとか、できない大変さとか思っしてほしいんですよね、この小さいうちに。」

「年少の時には、最後まで走れなかったり、いろいろあったんですが、こんなに最後まで一生懸命走れて、すごいと思いました。つい、大声で応援してしまいうるさかったです。すみません。」

### (先生のつぶやき)

「閉会式で、子供たちが前に出てメダルをもらっているところを見たら、自分の事のように嬉しくて、涙が出ました。」

「年少の時にあんなに甘えん坊だった○●君が、あんなに真剣に走っていて。。。。」

(走っている様子を見て号泣し涙で顔が濡れてました。それを見て私も涙でした。)

「お家の方が、ご家庭からたくさんの廃品を子供たちの使いやすいように持参してくださって、子供たちも夢中になって廃品制作をしているんです。」

